

# 生徒指導通信

黒沢尻工業高校生徒指導部  
第32号(11月24日発行)

## ○失敗が心を逞しくしてくれる。

生徒の中には、失敗するのが怖く、負けるのが怖いと感じている人が多くいるはずです。それは、我々大人も同様かも知れません。頭の中ではチャレンジした方がいいと知っていて、「やらない後悔より、やる後悔をしたい。」と理解しています。行動の先に、失敗や敗北が待っていたとしても、その経験から得る物がたくさんあることを感覚的に知っているはずです。

筋力トレーニングでは、筋肉に負荷を与えて筋繊維を壊すことで、筋繊維は元の状態よりも太くなって超回復します。これを「筋肉がついた」と表現します。

生徒の心にも、この「超回復」が必要です。我々教師や保護者は、ついつい、線路に引かれている石を取り除くように、手取り足取り、できるだけ失敗しないように関わってしまいがちです。トラブルを仲裁したり、必要以上に送迎をしたり、朝起こしてあげたり、忘れ物を持って行ってあげたり。それはもちろん、どれも愛情からくる行動です。しかし、失敗や辛い思いをする経験が少ない生徒は、「心の筋肉」が弱いまま成長してしまいます。

俺たちは生まれながらに偉いのではない。全力でぶつかり、失敗し、それでも立ち上がって、また失敗し、やっと何かをつかんだかと思ったら虚しくも朝の露。しかし、まだまだくたばらない。俺には欲があるんだ、夢があるんだと向かっていく。そうして、ちっぽけながらも、自分だけができる何かをつかんできた。  
～アントニオ猪木～

小、中、高校生と、ステージを上がるにつれて一気に負荷が高くなります。先輩ができて環境も変わり、突然激しい競争が始まり、責任も重くなります。いきなり負荷の高いトレーニングをすると、筋肉を痛めたり怪我をしてしまうように、負けや挫折の経験をあまりせずいきなり大きな負荷がかかると自信を失ってしまいます。

たくさん失敗しましょう。たくさん失敗する経験をさせましょう。もちろん、失敗を望んでするのはなく、成功を望んだ先が失敗であれば、そのプロセスや経過の間に素晴らしい価値があるはずです。

どんどん失敗することで、打たれ強く前向きな心を育みましょう。

## ○第4回カギ掛け実態調査報告より

11月12日(木)に実施された結果を報告します。無施錠台数がかなり減って良いとお褒めの言葉を頂戴していますが、それでもまだカギを掛けていない人がいます。日頃の習慣が表れている証拠です。

無施錠自転車が犯罪につながる事例があると言われていています。家や車を一時的に離れる際にもカギを掛ける習慣を身に付けることで、自転車盗難、車上荒らし、空き巣被害等、犯罪から免れることができるそうです。日頃からお互いに注意し合い、身の安全に努めていきましょう！

<令和2年度カギ掛け実態調査集計表>

| 期 日       | 駐輪台数     | 防犯登録数    | 無施錠台数   | ツーロック台数 |
|-----------|----------|----------|---------|---------|
| 5月12日(火)  | 232(257) | 217(240) | 90(78)  | 14(2)   |
| 7月13日(月)  | 121(231) | 104(214) | 35(99)  | 8(13)   |
| 9月15日(火)  | 192(249) | 172(223) | 40(66)  | 79(26)  |
| 11月12日(木) | 170(239) | 148(215) | 15(105) | 25(5)   |

( )内は昨年度